

# 第4回 社会主義 リアリズム文学 研究会



## プログラム

開会のあいさつ：越野剛（慶應義塾大学）

馬頭琴の起源にまつわる話（連環画）における社会主義リアリズム

ミンガド・ボラグ（フリーランスライター、翻訳・通訳、馬頭琴奏者）

司会：田村容子（北海道大学）

ベトナムのゴーリキー：グエン・ホン『幼き日々』（1938）

田中あき（東京外国語大学）

司会：久野量一（東京外国語大学）

日本における社会主義リアリズム受容の一側面：昭和10年前後を中心に

鳥木圭太（立命館大学）

司会：中村唯史（京都大学）

スターリン主義の主体形成——社会主義リアリズム文学と検閲をめぐって

平松潤奈（金沢大学）

司会：楯岡求美（東京大学）

閉会のあいさつ：鈴木将久（東京大学）

2021年  
11月13日（土）  
午後1時～6時

ZOOM を利用したオンライン会議です。以下のURLより事前参加登録をお願いします。

[https://keio-univ.zoom.us/meeting/register/tZcrdO6qrjwuE9Ft2xqBaKqOSIHoc\\_WE1ERo](https://keio-univ.zoom.us/meeting/register/tZcrdO6qrjwuE9Ft2xqBaKqOSIHoc_WE1ERo)

問合せ先：gkoshino@hotmail.com（越野）

共催：科学研究費基盤(B)「社会主義文化のグローバルな伝播と越境—「東」の公式文化と「西」の左翼文化  
科学研究費基盤(B)「社会主義文化と身体イメージ：ユーラシアにおける英雄・女性・死者の表象比較研究」



参加登録 URL

科研費  
KAKENHI